

設計のポイント

収納

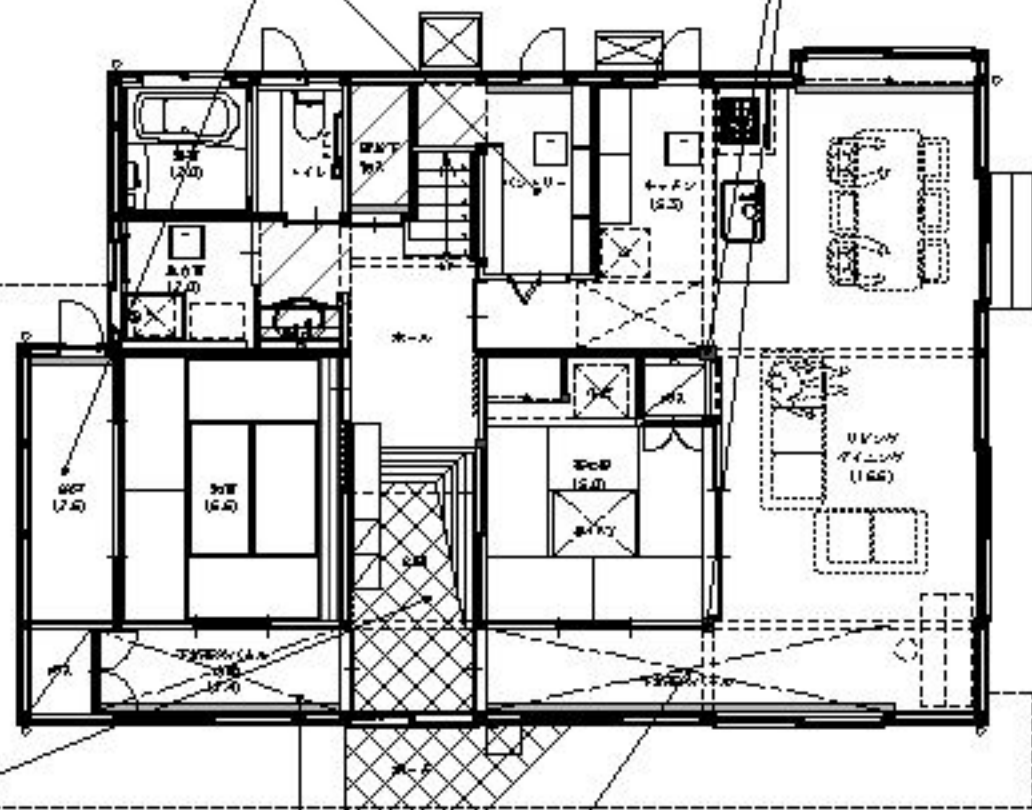
各部屋に、納戸やウォークインクローゼットをキッチンにはパントリーを設ける事で、部屋に置くものを最小にする事ができ、部屋を最大限に広々と使う事ができます。

古い柱

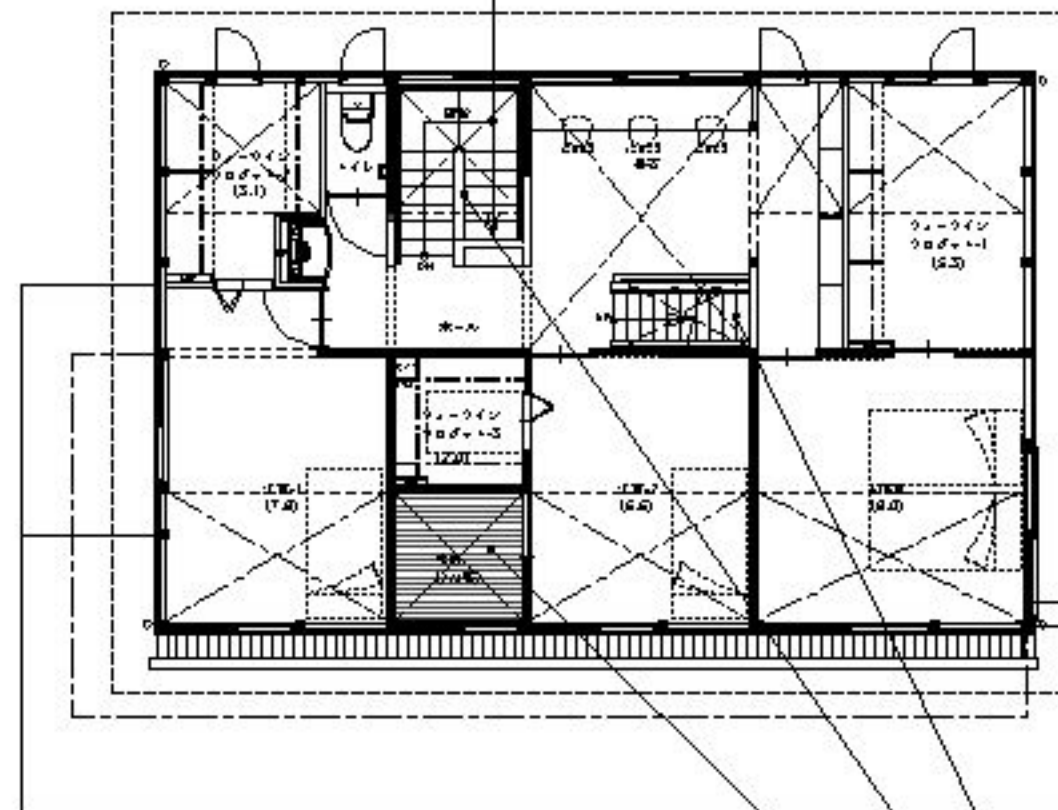
前の家の大黒柱と小黒柱を埋め木して再利用しています。前の家から新しい家に引き継ぐという気持ちもありますが、大断面で完全乾燥の無垢材はなかなか手に入らないものです。古材も大変貴重な資源なのです。

階段

1～2階への階段は踏面が230mm、蹴上が180mmと緩い勾配です。踊り場をとり大きな窓を設ける事で、明るく安全な階段になっています。



1階平面図



2階平面図

土間

土間のタタキが昼間の太陽の熱を蓄えてくれます。

サッシ

この建物のサッシは寒冷地で多く使われている樹脂サッシです。気密性と耐風圧性が高く断熱効果に優れているので省エネルギーになります。またこの地域は夏の時期、南から北に風が吹きます。各部屋に南から北に風が通るように窓を配しているのでエアコンを設置してはいますが、スイッチが入る時期はごくわずかになる予想しています。

広縁

広縁は外部と部屋との緩衝帯となり夏は直射日光を防ぎ冬は部屋が直接外気と面さないで寒さを防ぎます。またこの建物では蓄熱パネルを床に組み込み昼間の太陽の熱を蓄え夜放熱させる事で太陽の熱を有効に利用します。

吹抜

換気システムとしては、吹抜が空気を動かす重要な道となります。また、上下の階をつなげる事で空間の広がりや結び付けが得られます。この建物では、玄関から小屋裏へのスノコ張りの吹抜け、1～2階への階段、2階～小屋裏への階段の3ヶ所の吹抜が縦方向の空間を結びつけています。